

第2回 全国法学部経済法研究フォーラム

日時 2025年11月8日（土）午後1時—4時

場所 京都大学吉田キャンパス・国際科学イノベーション棟5階
(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)

参加申込 <https://forms.office.com/r/GTD4biU4g8>



参加申込フォーム

経済法研究フォーラムは、経済法を学ぶ学部生による研究発表大会です。大会会場では、選出された報告者によるポスター報告に加えセミナーが実施されます。その後、各種賞の受賞者の公表と大会賞受賞者によるプレゼンテーションなどが行われます。賞の一つは、来場者の皆さまの投票で決まります。会場には、全国の学部生・院生、経済法の研究者、独占禁止法・フリーランス法等を執行する公正取引委員会の関係者、企業法務に携わる弁護士を含む様々な方々が集まっています。関係者のご家族、ご友人なども、おいでになっていると思います。ふだんは会えないような人やテーマと出会って、話したり、学んだり、一緒に考えたりする場になると思います。今年も、様々なテーマをとりあげた素晴らしい作品が集まりました。ぜひ、お誘い合わせの上、京都大学の会場にお越しください。

ポスター報告

番号	報告題名	報告者
1	芸能・スポーツ・eスポーツ事業における移籍制限制度の考え方	小泉信一郎（成蹊大学）
2	ステマ規制の射程を問う：インフルエンサーの行為主体該当性と表示の限界	新井香乃・鎌田夏輝（法政大学）
3	高校野球の転学制限と独占禁止法：転学を禁止することは生徒のためか	円城寺雷太（早稲田大学）
4	「盾」としてのサステナビリティと競争法と排出量取引制度	金子史彦（新潟大学）
5	データ利活用に向けた制度設計の提案	萩原万葉（東海大学）
6	実演家へのフリーランス法適用と課題	栗又千優（中央大学）
7	業種ごとの現状から見るフリーランス法の課題と今後	伊藤康平・岩田真士・篠田欧我・中嶋幸大（横浜国立大学）
8	スマホ法の事前規制の妥当性	耀峻亮（成蹊大学）
9	日本の独禁法に、懲罰的損害賠償を導入すべきか？	清水川摩絵（東京大学）
10	物流業界における価格転嫁の実効性確保：労務費の適正な転嫁に向けて	菊池直人（弘前大学）
11	優越的地位の濫用から見る独占禁止法と下請法	小池優治・土田遙稀・瀬戸礼哉（東京都立大学）
12	ステルスマーケティングと企業の対策	佐藤光成（中央大学）
13	就活プラットフォームと自己優遇について－独占禁止法の観点から－	寺坂美優・カルタムツシユミナ（国士館大学）
14	ステルス値上げを景品表示法で規制できるか	澤田峻（法政大学）
15	入札不正における人間関係	鈴木ひかり（弘前大学）
16	「クリエイターエコノミー」と消費者・競争法：3Dモデル取引からの論点整理	國武悠人（慶應義塾大学）
	なぜヨネックスの取引妨害行為は実行可能だったか？	
17	－現役バドミントン部員によるヨネックス事件（2003年）の再検討－	曾我井優斗（山口大学）
18	Amazonは問題じゃないのか！！	青木音緒・豊田麗愛（国士館大学）
19	小売店が提供するコード決済の自己優遇を規制できるか	大道鼓太郎・熊谷太陽・佐藤仁心（法政大学）
20	アルゴリズムを用いたダイナミックプライシング導入と市場への影響	松澤みらい・OH KYOJIN（京都大学）
	供給危機における事業者間の協調	
21	－英・欧・日のパンデミック対応の比較と英国PPE0制度の意義－	岡村隆聖（東京大学）
22	ポケモンカードの販売には独占禁止法が隠れている！？	鈴木進平（成蹊大学）
23	転売＝悪は本当か？：法律と倫理からチケット転売を考える	岩本千明（中央大学）
24	独占禁止法で迫る便乗値上げ：優越的地位の濫用と流通過程の透明化	ユリヤ・ザハロワ、馬郁鈞、関口瑠々（法政大学）

セミナー

- 13:10-13:30 若江 雅子 氏「個人データ保護法制を巡る課題」（朝日新聞編集委員）
13:45-14:05 片岡 克俊 氏「コンテンツ産業分野での公正取引委員会の取組」（公正取引委員会事務総局取引調査室長）
14:20-14:40 酒匂 景範 弁護士「独禁法にかかる法律実務について」（大江橋法律事務所）
15:20-16:00 表彰式・大会賞受賞者による報告

※大会ウェブサイト <https://www.mcompl.org/kyoto2025/>



主催：全国法学部経済法研究大会実行委員会

共催：公正取引委員会競争政策研究センター

経済法ってなに？

- 経済法の中心は、公正で自由な市場競争を守ることを目的とする競争政策を実現するために用いられる独占禁止法です。
- 独占禁止法の研究・運用では、民法、会社法、知的財産法、労働法、個人情報保護法など様々な分野との交錯的な論点もあります。
- 経済法には、「景品表示法」、「下請法」、「フリーランス法」、「スマホ競争促進法」や各種の事業法も含まれます。

全国経済法研究フォーラム

日時：
2025年11月8日(土)午後1時—4時

場所：
京都大学（吉田キャンパス）
国際科学イノベーション棟5階
(京都市左京区吉田本町)



なにをするの？

出入り自由なポスターエリアとセミナーエリアを併設し、同時並行で複数のイベントを開催します。

- 学生参加者によるポスター発表
- 著名な審査員による審査と表彰
- セミナー
- 参加者同士の交流
- 「経済法研究の相談室」開設



ポスター発表ってなに？

- 研究の成果を、A2サイズ程度の大型の紙面1枚にまとめて、そのポスターを使って、来場者に、自分の研究を説明するものです。
- 理系の学会で、しばしば使われる方法です。



著名な審査員による審査・表彰

- 岡田羊祐（成城大学教授、元公正取引委員会競争政策研究センター所長）
- 泉水文雄（公正取引委員会委員）
- 土田和博（日本経済法学会理事長、早稲田大学名誉教授）
- 友行啓子（消費者委員会事務局参事官）
- 村井七緒子（朝日新聞東京本社）
- 森亮二（弁護士）

☆大会賞受賞者にはフォーラム閉会式にて研究発表を行っていただきます。

3つのセミナーを開催します

若江 雅子 氏 / 朝日新聞編集委員

- ・「個人データ保護法制を巡る課題」（13:10—13:30）

片岡 克俊 氏 / 公正取引委員会事務総局取引調査室長

- ・「コンテンツ産業分野での公正取引委員会の取組」（13:45—14:05）

酒匂 景範 弁護士 / 大江橋法律事務所

- ・「独禁法にかかる法律実務について」（14:20—14:40）

多様な人たちの交流の場です

○このフォーラムには、学生、研究者、企業にお勤めの方、弁護士、公正取引委員会職員ほか関係者、市民の方々など、多様な方々のご来場がみこれます。

○このフォーラムは、普段、お話しする機会がない皆さんの交流の場となることを目指しています。



名刺交換をしてみよう！

- 発表予定のない人も、ぜひ、気軽に立ち寄ってください。
- 大学生はもちろん。高校生や中学生、社会人の方々も、是非、ご参加ください。

発表予定がある人もない人も、この機会に名刺を作って、フォーラムで出会う人たちと名刺交換をしてみましょう。

学生の採用、 経済法の研究・実務にたずさわる皆様

新しいアイディアと才能を探しに来てください。



さらに詳しくはサイトで。



<https://www.mcompl.org/kyoto2025/>

